

2023年度 八戸学院大学短期大学部

幼児保育学科・介護福祉学科 一般選抜Ⅰ期

国 語

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いたときは、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

【I】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を差し控えております

著作権者への配慮から現時点での掲載を差し控えております

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 、に入る語として最も適切なものを、次の1～5の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きなさい

- 1 独創的 2 楽天的 3 客観的 4 好意的 5 悲観的

問三 傍線部1「ひとりブレインストーミング」とあるが、次の文章はその内容についてまとめたものである。(I)に入る最も適切な六字の語句を文章中からそのまま抜き出して書き、(II)に入る最も適切な語句を、後の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

自分の頭の中で一人何役も演じることで、(I)の視点からアイデアを出し合ったり、それらを(II)手法のことである。

(II)に入る語句

- 1 さらに多方面に拡散させたりする
- 2 さまざまな角度から検討したりする
- 3 妥協させる道を探ったりする
- 4 考えることを中断したりする

問四 傍線部2「声に出して語りかけてみるのです。」とあるが、筆者が、発言しようとする内容を身近な人に話すことを勧めるのはなぜか。「軌道修正」、「発展」の二語を使って、五十五字以内で書きなさい。

問五 傍線部3「親しい人」とあるが、「気心が通じていて打ちとけやすい様子」を表す語句を、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 気が置けない
- 2 気が乗る
- 3 気がとがめる
- 4 気が付く

問六 スピーチやプレゼンテーションなど、人前で話をする場合、あなたならどういうことに気をつけて話をするか。あなたの考えを百字以内で書きなさい。

【Ⅱ】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「「がんじつこ」と呼ばれる村の嫌われ者、岩田滋乃(シゲバあさん)は、村人とよく揉めていた。気弱な村役場の職員である金池さんは、シゲバあさんが素直になるように説得する役目を、押しつけられた。」

「「1うちは、一度、行ったことがある」

「「南の島へ：：ですか」

「「そうや。あん人が何を見たんか知りとうて、出かけていった。なーんもわからなかったけどな。きれいな海があるだけや。ごっこつした黒い岩とジャングルと：暑かったがや。十二月やったに、暑うて、暑うて、虫がぶんぶん飛び回っておったな」

「「なーんも、わからなかった：：ですか」

「「どう答えていいか①マドい、金池さんはシゲバあさんの言葉を繰り返した。」

「「亭主やて他人や。他人のことはわからん。わかっとるのは、自分のことだけや。うちかて、自分のことならわかる」

「「何がわかります？」

金池さんはコタツの中でこぶしを②ニギった。シゲバあさんの話に本気で耳をかたむけていると気がついた。③ギリではなく、「適当ではなく、本気で聴いている。」

「「バンザイ、や」

「「はい？」

「「うちがバンザイって叫んで、あん人を送り出したってことだけは、わかる。あん人は、それで、鬼を背負うて帰ってきた」

「「けど、それは、岩田さんが悪いんやないでしょ。みんな、そうだったんだから…」

「「「そうやな。みんな、そうやったいね。けど、それでも：：2うちは悔いとる。うちだけでも、うち一人でも、ずっと泣いておればよかった。」

「「行ってほしゆうないと「すが」続ればよかった。できたら、あん人と二人で逃げ出せばよかった。今なら、「そうも思えるわいね。今さら思うても、遅いけどな」

「けど、あの時代ってそんなこと不可能で…」

「できる、できんやない。やればよかったんや。見つかって、殺されても逃げればよかった。鬼を背負うより、なんぼかマシやったかもしれん。遅いやが。なんぼ言うても遅いやが」

「岩田さん」

「うちは、せめて亭主との、それに、姑しゅうとめとの約束を果たすんや。とことん生きてやるんや。がんばって呼ばれてもええ。嫌われてもええ。自分のここんここに」

シゲばあさんがこぶしで胸を叩く。

「ここんところにある気持ちを偽らんようにするんや。そうやって、生きてやるんがいね。お棺に入ったあん人の死に顔見ながら、決めたといね」
シゲばあさんが、少し首を傾かしげた。

金池さんは思わず目を瞬まいてしまった。

目の前に座っている人が、柔らかな頬ほおをした若い女性に見えたのだ。まっさらの緋ひを着た、まだ少女とも思える女性だ。とても初々しい微笑みを浮かべている。

④アワてて目をこする。

「ゴミ、入ったかや」

「いえ…」

皺しわだらけのシゲばあさんは初々しくも、微笑んでもいなかった。

「あんた、うちに似てるで」

「わたしが？」

「なーんも言わんと、言いたいことも言わんと、がまんして、それですませてしまう。嫌われるのや、除のけ者にされるのが怖くて、自分の思うたこと口にせんと、すませてしまう。優しいんやないで、⑤オクビヨウひきょうなだけや。卑怯ひきょうなだけや。若えころのうちによう似とる。けど、金池さん」

名前を呼ばれた。背筋が伸びる。

「はい」

「あんた、いつまでもそのまま、おるんな？」

「それは…」

「あんたも、バンザイって叫んで、好いた男を **A** にするかや」

「それは…」

3 金池さんは背筋を伸ばしたまま大きく息を吸った。

それは、嫌だ。

「岩田さん、わたし：4 わたしも、がんじつこになれるでしょうか」

シゲばあさんは顎^{あご}をあげ、金池さんを見つめた。じつと見つめた。それから、笑った。にやりと、唇を曲げて笑った。

「がんばつてみるんやな」

金池さんも笑ってみる。にやりと：シゲばあさんのようにはいかない。年季^{とし}が違うのだ。風の音がする。雪交じりの風が吹きつけている。でも、コタツは暖かい。

「がんじつこ」

金池さんは **B**、でも、**C** 声で自分に呼びかけてみた。

あさのあつこ「がんじつこ」より

注1 がんじつこ 頑固、強情などの意味。 注2 あん人 Ⅱ シゲばあさんの亡くなった夫のこと。戦争で南方に出征し、奇跡的に生き残った。

注3 バンザイ Ⅱ 兵士が出征するときに、「万歳」と唱和して送り出すのがならわしだった。 注4 鬼を背負うて Ⅱ シゲばあさんの夫が、戦争によって傷つき人格が変わってしまったこと。 注5 年季が違う Ⅱ 長年の経験による慣れや熟達ぶりが違うということ。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字で書きなさい。

問二 傍線部1「うちは、一度、行ったことがある」とあるが、シゲバあさんは何のために、どこへ行ったのか。二十五字以内で書きなさい。

問三 傍線部2「うちは悔いとる」とあるが、シゲバあさんは何を後悔しているのか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 戦地に行く夫を、心ならずも祝福して送り出したこと。
- イ 負け戦だと知りながら、戦争に反対しなかったこと。
- ウ 戦争で変わってしまった夫に、冷淡な態度で接したこと。
- エ 戦争に関わることを拒否し、夫と二人で逃げ出したこと。

問四 Aに当てはまる言葉を文章中から漢字一字で書き抜きなさい。

問五 傍線部3「金池さんは背筋を伸ばしたまま大きく息を吸った」とあるが、これは金池さんのどのような様子を表しているか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア シゲばあさんに鋭い指摘をされて、言い返すことができず気落ちしている様子。
- イ シゲばあさんに鋭い指摘をされて、説得できないことを悟り困惑している様子。
- ウ シゲばあさんに鋭い指摘をされて、自分を変えることを強く決意している様子。
- エ シゲばあさんに鋭い指摘をされて、初めてその優しさに気づき感謝している様子。

問六 傍線部4「わたしも、がんじっこになれるでしょうか」とあるが、ここでの「がんじっこ」とは、どのように生きる人のことか。「…生きる人。」に続くように、文章中から十字で書き抜きなさい。

問七

B

・

C

に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア B 大きな C はっきりした
- イ B 小さな C しっかりした
- ウ B 大きな C きっぱりした
- エ B 小さな C しょんぼりした

【Ⅲ】次の文の傍線部が慣用句となるように、にあてはまる言葉として最も適当なものをあとのア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 彼女の華麗な演技に、全員がを巻いた。

ア 腕 イ 首 ウ 手 エ 舌

② この前入学したばかりなのにもう卒業とは、光陰の如しだ。

ア 光 イ 時 ウ 矢 エ 瞬

③ 食事中に騒ぐ集団を、迷惑そうにをひそめて見ていた。

ア 手 イ 顔 ウ 眉 エ 尻

【Ⅳ】次の四字熟語の傍線部のカタカナを漢字に改めなさい。(解答欄には二字だけ記入)

① どのような戦争にも決して大義メイブンなどない。

② 同じことばかりの繰り返しで、無味カンソウな日々をおくる。

③ 彼はダイタン不敵にも、ひとりで敵の中へ乗り込んでいった。

〈問題終了〉